

後期高齢者健診等の受診状況について

1 特定健康診査・後期高齢者健康診査について

◎令和3年度より、全受診者に対し質問票（厚労省策定 特保—26項目、後期高齢—15項目）を実施。令和4年6月よりKDBシステムにてデータ確認が可能となるため、令和4年度以降の保健事業等に活用していく。（受診期間 2021.5月～2022.1月）

2021年12月末現在

令和3年度 後期高齢者 健康診査受診者	9,649人／21,341人（受診率 45.2%）
令和3年度 国保 特定健康診査受診者	9,018人／26,534人（受診率 34.0%）

2 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業について

◎令和3年度実績

項目		進捗状況
ハイリスクアプローチ	重複・頻回受診者等への相談・指導の実施	重複・頻回受診者、重複投薬者、健康状態不明者合計130名に対し、保健指導の実施を通知し、希望する者に対し、2回の保健指導を実施。 ●初回訪問実施者—21名（実施率 16.2%） （重複受診—5名、多剤処方—2名、健康状態不明—14名） ●うち2回目訪問実施者—19名（実施率 14.6%）
ポピュレーションアプローチ	TAMA フレイル 予防プロジェクトの実施	高齢支援課と連携し、6月23日、10月28日に、保健師や歯科衛生士、管理栄養士等の医療専門職を派遣し実施。参加者は健康不安を抱える方もいるため、保健事業につながるよう工夫が必要。
	通いの場等での健康教育・健康相談の実施	●健康推進課・多摩市社会福祉協議会と連携し、地域のサロン等において、栄養や口腔機能に関する健康教育・健康相談を実施。 ●高齢者の栄養や口腔ケア等をテーマに、11月に2件、1月に1件の出張健康講座を実施。 ●令和4年度からは健康推進課が実施する「出張教育」を一体的実施事業と位置づけて協働して実施する。

◎令和4年度の取組み予定

- ・ハイリスクアプローチについて、健診結果や質問票より要介護になる要因である高齢者の衰弱、認知症、骨折等の方を抽出し、事業参加の勧奨通知の発送等を行い、早期予防・改善につなげていけるよう対象者を拡大する。
- ・フレイル（低栄養、口腔等）や糖尿病や高血圧等の生活習慣病や骨粗鬆症の治療中断者について生活全般についても訪問指導を実施する。

3 後期高齢者歯科健診（令和2年度から実施）

令和3年度実績・結果（R4.2.28時点）

	全体	男性	女性		所見なし	所見あり	所見ありの割合
対象者数	8,736	3,900	4,836	合計	373	752	66.8%
受診者数	1,125	540	585	男性	165	375	69.4%
受診率	12.9%	13.8%	12.1%	女性	208	377	64.4%

- ・受診者が全体の12.9%となっており、今後は受診率向上に向けた取り組みが必要と考える。